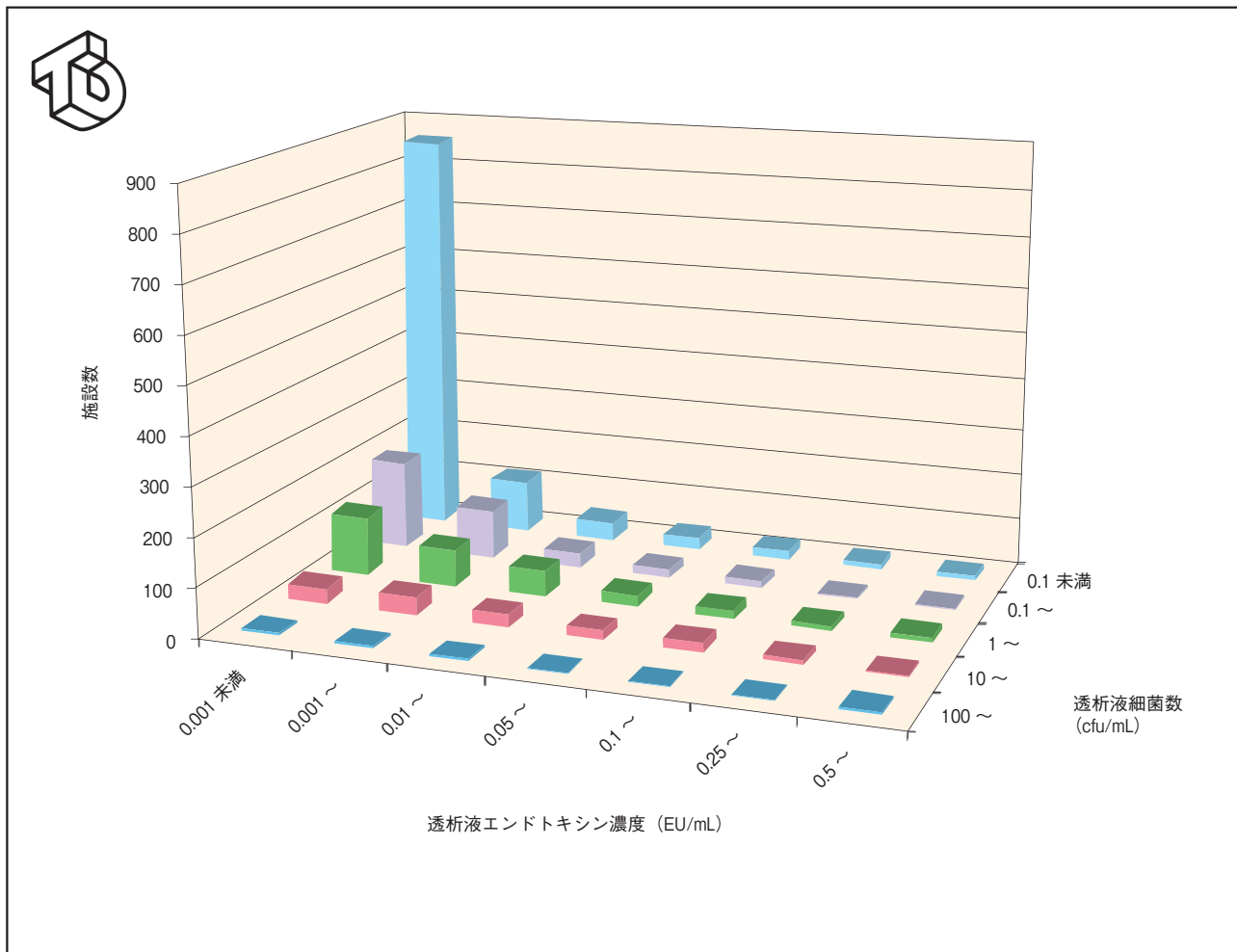


1) 透析液水質管理状況

(6) 透析液エンドトキシン濃度と細菌数 (図表27)



透析液エンドトキシン濃度 (EU/mL)	透析液細菌数 (cfu/mL)						不明	記載なし	総計
	0.1未満	0.1～	1～	10～	100～				
0.001未満	857	190	127	37	7	128	505	1851	
0.001～	113	104	78	41	5	60	201	602	
0.01～	43	33	55	27	5	24	136	323	
0.05～	28	21	26	18	3	16	79	191	
0.1～	20	17	19	18	3	17	51	145	
0.25～	16	5	10	10	3	7	28	79	
0.5～	11	7	13	5	8	13	48	105	
不明	10	3	5	5	2	161	63	249	
記載なし	12	7	7	2	0	55	389	472	
総計	1110	387	340	163	36	481	1500	4017	

施設調査による集計

解説

超純水透析液を担保する透析液エンドトキシン濃度0.001EU/mL未満および透析液細菌数0.1cfu/mL未満を達成している施設が4,017施設中857施設 (21.3%) で最も多かったが、透析液エンドトキシン濃度と透析液細菌数には乖離が認められた。エンドトキシン濃度は透析液水質の即時的な安全性の管理に有用であり、一方細菌数は透析液作成工程管理の指標として把握する必要がある。したがって双方の検査を施行すべきである。